

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

8人中8名提出 回答率100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・増築されたので小集団や保護者との相談も話が聞きやすい。 ・増築し、相談室や小集団で活動できる部屋が増えた。	令和5年度、個別相談・活動、集団活動、重心対応など様々な用途に使えるように改修、増築をしたので運営で工夫しながらお願いします。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	・安全確保のため、1対1の割合が多い。 ・子どもの多い日と少ない日で差があると感じます。 ・子ども一人に担当の保育士がしっかりついて対応している。	・欠席などにより日々の予定人数と違うこともあるが基本担当は1対1または、1対2で支援を行う体制をとっている。一人の子を専任ではなく多人数の視点で支援できる体制を今後も継続予定。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		・パーテーションで区切りの活動がわかりやすいようにしています。 ・増築でバリアフリーになりました。 ・出入り口の多くはスロープがある。	小集団の部屋ができたので、より活動ごとに部屋の用途を変えて、その子に合った環境調整(配慮)をしながら活動を提供していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		・トイレなど寒い場所があるがストーブやマットを敷いて暖かくなるようにしている。	職員が感染症予防を最重点項目として取り組んでいます。 園においてはコロナ感染の流行期でも特段、休園することなく園を開園することができています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1		今回の事業所評価を元に職員会議等で、その年度に合った計画、日々の活動を進めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	8			長年懸念であった、保護者学習会、親の会を通年で実施でき、非常に好評価を得ました。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		・過去からのものを含めて町ホームページに掲載している。	

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	未記入 1	・外部評価という形ではないが、主任児童委員を第三者委員として依頼し、各委員会等の開催のときに意見をいただいている。その意見を元に職場内、担当課とより施設運営、管理、支援内容が向上するように話し合いを持っている。		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			近隣施設との定例会、先進事業所の施設見学、県、自立支援協議会、相談支援員協会等主催の研修会に年に数回は研修できるように組んでいます。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	未記入 1	心理職による発達検査、医療機関との連携からの発達検査結果などを元に月齢ではなく発達年齢に合わせて活動が提供できるようにしている。	・発達状況を知るため明確な数値として表れている発達検査の結果表を参考にさせていただいている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8				児童発達支援管理責任者が計画作成する際に家族等に聞き取り組み入れるようにしている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		障がい児支援計画に沿って個別支援計画を作成している。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	・主な計画は一人で立てている。細かな内容や子どもに合わせた支援は相談している。	・児童発達支援管理責任者が主となって計画を立てているがその時期の担当者に相談をしながら計画修正を実施している。関係機関とも相談できる機会が定期的であれば良いと思う。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・登園する子に合わせた活動の工夫をしている。	見直し、点検を職員全体、外部専門職の意見を取り入れて随時み直す。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8			活動や流れが前例踏襲に陥りがちなので活動やプログラム、流れ、環境設定を通園する児に合わせて今後も変更、検討していきます。	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・朝礼で当日の活動の確認が行われている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	・課題がある時には職員間で共有し話し合いをしています。 ・勤務時間がそれぞれ違うため難しいが気づいたことは相談・連絡・記録をするように今後もしていきたい。 ・振り返りは行っているが全体での打ち合わせなどは行っていない。 ・勤務時間の違いもあり全体は難しいが個々で様子を共有している	・振り返りは個々で行うようにするなど工夫をしてくれている。 ・記録等で確認を行い、疑問や課題の共有を図ることができる。 ・勤務時間が異なるので全員での打ち合わせは難しい。 ・連絡ノートやホワイトボードで連絡をし、小まめに行うことで共有できる。または意見を記入しても良いかもしれない。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・支援の手立てを考えながらそれぞれに合った保育を行い支援の改善をしています。 ・一人一人の日誌を記入し2週間ごとに保護者が確認している。	加算を含めて何事も職員が必要なときにすぐに見つけ出してみることができるように工夫している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		・担当保育士も出席できる時は出席しても良いのではないかと感じます。	・個別支援計画にかかわる事項もあるため園長や児発管が出席している。担当職員には口頭で内容を伝えるようにしたり全体に記録で知らせたりしている。 ・サービス会議は子どもの通園日に合わせているため担当職員の参加が難しいこともあるが、環境を整えば参加したほうが良いと思う(重心・医ケア児:看護職)
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8			本庁の担当関係者と随時連絡を取り合っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		・子どもの保護者の置かれた環境を理解するには、なるべく多くの情報が必要であり、多面的、重層的な支援が必要なため関係者会議や担当者とは随時連絡を取っている。	

②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8			
②⑤	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			
②⑥	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・他の施設を見学をしながら支援方法・環境構成、運営管理など学んでいる。	・機会があれば今後も他施設の見学やリハ同伴などで学ぶ機会が増やせたらと思う。 ・先生たちの前向きに様々な情報を得ようという意欲がみられる。
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8		・隣接園との交流が行える。 ・隣接する三日町保育園と園庭を共有しているためふれあう機会がある。	
②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	・参加の機会があれば参加させてもらっている。	・園長・児発管・看護職で関係している内容の際、参加しているが、保育士さんで希望があれば参加してもいいのでは。
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・子どもの様子を伝えながら日々の活動に取り組めるように保護者に話をしています。 ・なるべくリアルタイムでその日のうちに話をするようにしている。保護者と話す。 ・園長先生や担当の先生に確認してから話をしている。	
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	2	・ペアトレのプログラムでは行っていないが心理職を交えて各相談や親の会で家族支援を行っている。 ・親の会がとても良い場になっている。	・療育相談や親の会を通して親支援を行っている。今年度は療育の相談の返しを担当保育にしてもらう。または、直接話が聞けるようにも対応。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		計画作成面談日や通園日初日に実施。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	職員が随時うかがい、解決難しいときは職員間または関係者で共有して良いか確認して対応を検討している	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	・定期的に親の会があり、保護者同士で話す機会がある。 ・親の会の活動を定期的に行い保護者同士の気持ちの共有の場として連携を支援しています。	
	③⑥	子どもや保護者からの目談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	・時間を置かないような対応を心掛けている。先延ばしにすると保護者の不安が増す。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	「あゆみ」という手紙を出して家族に伝えている。 外国籍の方にはその方の日本語 m 後の理解力を鑑みて、ひらがな、通訳依頼、スマホアプリを利用し伝えている	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	・園で使用している写真・絵カード・ジェスチャー・マカトンサインを保護者に伝えている。	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染の拡大もあり難しいが徐々に考える必要がある。 ・卒園式や入園式ねの出席や地域の文化祭への作品出品など地域との交流を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染も5類となり、必要や要望があれば弟妹を見守るボランティアの協力の再開も検討している。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8			
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・石川県の災害を見ると毛布なども用意する必要があるのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズに関しては改めて職員間で検討が必要と思われる。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・内服薬の量など変更がある場合もあるため意識して確認を行っている。 	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の口頭指示に基づき、重度のアレルギーではないため、現在は必要に応じて保護者を通じて医療機関と連携を取り看護職が対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に看護職の職員が観察と丁寧な対応をしてくれている。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の自立支援協議会主催の研修や県指定の研修を受講するようにしている。 ・虐待防止委員会・身体拘束防止委員会を設置し、年2回、通園児への対応について職員間で検討し、出た意見については対応をしている。 	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・上記委員会で確認。 ・安全確保のため、椅子のベルトを使用して体に装着しているお子さんもいるが、個別支援計画をたてる際、保護者の方の同意を得ている。 ・他の子どもに関しては、拘束を必要とする子どもが現在はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で虐待や身体拘束につながる対応など防止に日頃から努め、身体拘束になりうるケースに関しては保護者の同意を得るようにしている。今後も継続して行う。